

# 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 株式会社 テイン  
 コード番号 7217 URL <https://www.tein.co.jp/index.html>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市野 諒  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 那須 賢司

TEL 045-810-5511

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,697	3.6	675	5.7	790	0.5	562	2.0
2021年3月期第3四半期	3,569	10.3	716	70.6	794	103.8	574	92.5

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 704百万円 (14.4%) 2021年3月期第3四半期 616百万円 (149.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	108.32	
2021年3月期第3四半期	110.55	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	7,547	5,003	66.3	963.34
2021年3月期	7,214	4,449	61.7	856.66

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 5,003百万円 2021年3月期 4,449百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		29.00	29.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,903	3.9	913	4.0	957	14.5	685	16.2	132.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 天御香港有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	5,400,000 株	2021年3月期	6,652,250 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	206,506 株	2021年3月期	1,458,687 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	5,193,508 株	2021年3月期3Q	5,193,611 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ワクチン接種率の上昇などに伴い新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあり、また各国での経済対策を下支えとした景気回復を背景に需要が増加し、経済活動は回復基調となりました。しかしながら12月以降には感染力が強いと言われる新たな変異株オミクロン株による感染者が世界的かつ急速に拡大したことや、出口の見えない米中貿易摩擦が国内経済に及ぼす影響など、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような情勢のもと、当社の属するカーアフターマーケットにおいて当社グループは、新型コロナウイルスの影響による渡航制限などで思うような営業活動ができない中、限られたイベントでの効果的な活動や、海外の一部地域で再開された展示会への積極的な出展、またWeb会議ツールを有効活用するなどして、新たな基幹製品となる「EnduraPro」シリーズを筆頭に、その他の定番製品も合わせた販売活動に力を注いでまいりました。また、引き続き各地域特性に合わせた各種の販売キャンペーンにより継続的な需要のこ入れを図る一方で、新規に制作した展示什器による顧客訴求力の高い売場作りにも引き続き取り組んでまいりましたが、ワクチン接種後の消費動向の変化、海上輸送の混乱や輸送費用の高騰など足元では懸念材料も存在し、先行きの不透明感が強まっている状況となっております。なお、自動車メーカーなどでは世界的な半導体不足による生産調整を余儀なくされておりますが、当社においてはこれらの影響は受けておりません。

他方で、事業の継続を図りつつも従業員の安全を最優先として、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間に関わらず、普段からも勤務中の常時マスク着用や定期的な体温測定、またこまめなアルコールでの手指消毒に加え、積極的な在宅勤務や出社率管理などの徹底した感染対策も継続的に実践しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,697百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

損益において売上総利益は引き続き増益となったものの、販売費及び一般管理費の増加もあり営業利益は675百万円（前年同期比5.7%減）となりました。なお為替差損益の影響もあり経常利益は790百万円（前年同期比0.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益については562百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ332百万円増加し、7,547百万円となりました。これは主として、商品及び製品の増加によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ220百万円減少し、2,544百万円となりました。これは主として、買掛金の減少によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ553百万円増加し、5,003百万円となりました。これは主として自己株式の減少によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点においては概ね計画通りに推移しており、2021年5月14日に発表いたしました予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,597,168	1,306,280
売掛金	373,716	278,227
商品及び製品	1,084,037	1,277,040
仕掛品	155,588	252,312
原材料及び貯蔵品	285,316	383,038
その他	71,681	95,468
流動資産合計	3,567,509	3,592,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	912,131	918,035
機械装置及び運搬具(純額)	975,601	1,117,797
土地	1,070,533	1,070,533
その他	222,487	409,418
有形固定資産合計	3,180,753	3,515,784
無形固定資産	20,916	28,314
投資その他の資産		
その他	445,601	411,286
投資その他の資産合計	445,601	411,286
固定資産合計	3,647,271	3,955,385
資産合計	7,214,781	7,547,752
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	338,157	282,296
1年内返済予定の長期借入金	175,376	625,376
製品保証引当金	6,419	5,474
その他	708,637	375,372
流動負債合計	1,228,590	1,288,519
固定負債		
長期借入金	1,061,008	767,083
役員退職慰労引当金	260,275	269,987
退職給付に係る負債	161,111	163,478
その他	54,636	55,572
固定負債合計	1,537,031	1,256,121
負債合計	2,765,621	2,544,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	217,556	217,556
資本剰余金	215,746	215,746
利益剰余金	4,459,511	4,464,898
自己株式	△473,569	△67,053
株主資本合計	4,419,244	4,831,146
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	29,915	171,964
その他の包括利益累計額合計	29,915	171,964
純資産合計	4,449,159	5,003,111
負債純資産合計	7,214,781	7,547,752

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	3,569,055	3,697,649
売上原価	1,975,033	2,028,579
売上総利益	1,594,021	1,669,069
販売費及び一般管理費	877,218	993,294
営業利益	716,803	675,774
営業外収益		
為替差益	14,608	68,623
助成金収入	49,012	33,670
その他	20,845	20,525
営業外収益合計	84,466	122,820
営業外費用		
支払利息	6,332	6,658
その他	901	1,862
営業外費用合計	7,234	8,521
経常利益	794,035	790,074
特別利益		
固定資産売却益	899	3,145
特別利益合計	899	3,145
特別損失		
関係会社清算損	—	8,465
その他	4,669	624
特別損失合計	4,669	9,089
税金等調整前四半期純利益	790,266	784,130
法人税、住民税及び事業税	240,048	170,635
法人税等調整額	△23,976	50,883
法人税等合計	216,072	221,518
四半期純利益	574,194	562,611
親会社株主に帰属する四半期純利益	574,194	562,611

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	574,194	562,611
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	40,725	145,177
持分法適用会社に対する持分相当額	1,216	△3,128
その他の包括利益合計	41,942	142,048
四半期包括利益	616,136	704,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616,136	704,660

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社であった天御香港有限公司は、2021年9月30日に清算終了したため当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、当会計基準の適用による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりであります。なお、経常利益に与える影響はございません。

## ・買戻し契約

一部の有償支給取引について、第1四半期連結会計期間より金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。但し、当第3四半期連結会計期間末日において、影響はございません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,174千円減少し、売上原価は1,174千円減少しております。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、時価をもって四半期連結貸借対照表価額とする金融商品を保有しておらず、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。



(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、自動車用サスペンションの製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。